

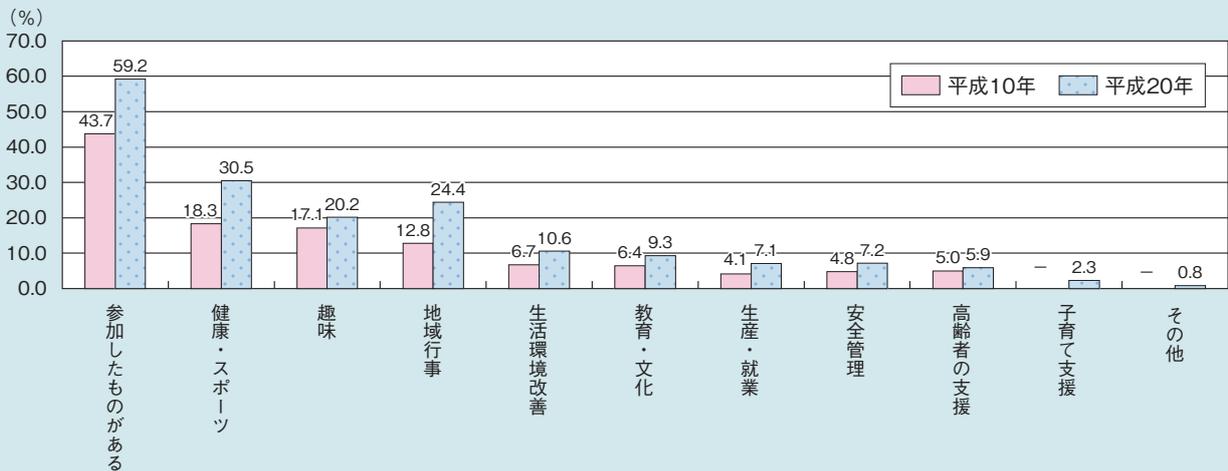
5 高齢者の社会参加活動

(1) 高齢者のグループ活動

グループ活動への参加状況についてみると、60歳以上の高齢者のうち59.2%（平成20（2008）年）が何らかのグループ活動に参加しており、10年前（10（1998）年）と比べると15.5ポイント増加している。具体的な活動についてみると、「健康・スポーツ」（30.5%）、「地域行事」（24.4%）、「趣味」（20.2%）、「生活環境改善」（10.6%）、「教育・文化」（9.3%）、「安全管理」（7.2%）、「高齢者の支援」（5.9%）、「子育て支援」（2.3%）、「その他」（0.8%）の順となっており、いずれの活動も10年前と比べて増加している（図1-2-5-1）。

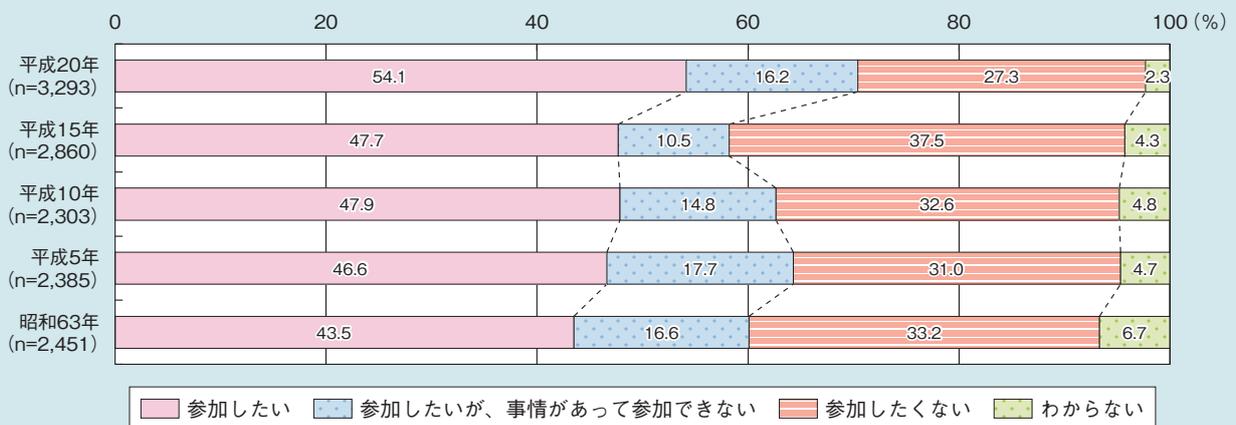
今後の参加意向についてみると、「参加したい」が54.1%、「参加したいが、事情があって参加できない」が16.2%となっており、参加したいと考える人の割合は約7割となっている（図1-2-5-2）。

図1-2-5-1 高齢者のグループ活動への参加状況（複数回答）



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成20年）
 （注1）全国60歳以上の男女を対象とした調査結果
 （注2）「高齢者の支援」は、平成10年は「福祉・保健」とされている。

図1-2-5-2 高齢者のグループ活動への参加意向



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成20年）
 （注）調査対象は、全国60歳以上の男女

(2) 高齢者の学習活動

高齢者の学習活動への参加状況についてみると、60歳以上で何らかの学習活動に参加している人の割合は17.4%となっている。活動内容をみると、「カルチャーセンターなどの民間団体が行う学習活動」が7.6%、「公共機関や大学などが開催する公開講座など」が4.8%などとなっている（図1-2-5-3）。

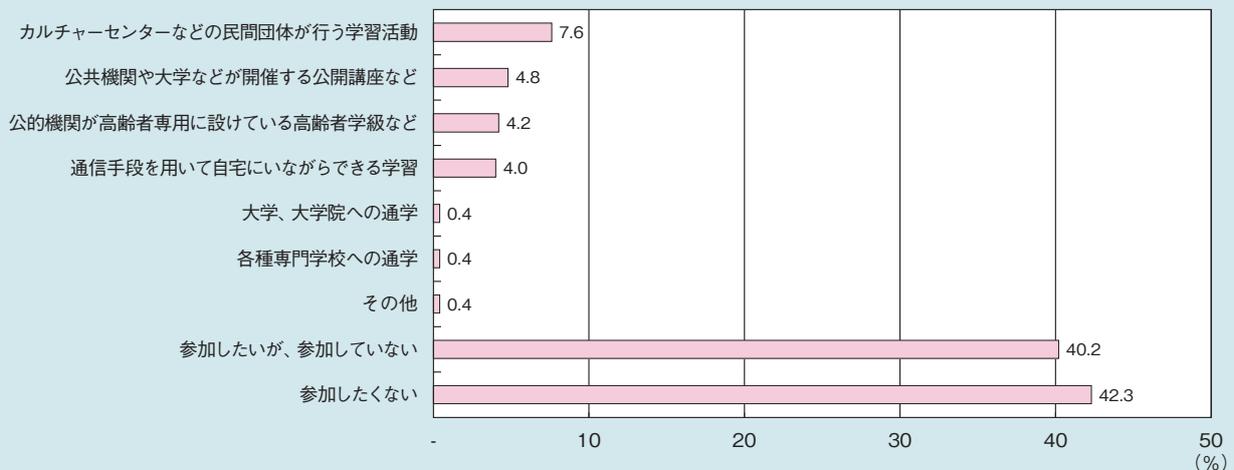
また、行ってみたい生涯学習の内容は、「健康・スポーツ」（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）が最も多く、60～69歳では47.5%、70歳以上では31.8%となっている（図1-2-5-4）。

(3) 若い世代との交流の機会への参加状況

高齢者の若い世代との交流の機会についてみると、60歳以上で何らかの交流の機会がある人の割合（「よくある」、「たまにある」と回答した人の合計）は平成20（2008）年で54.9%となっている（図1-2-5-5）。

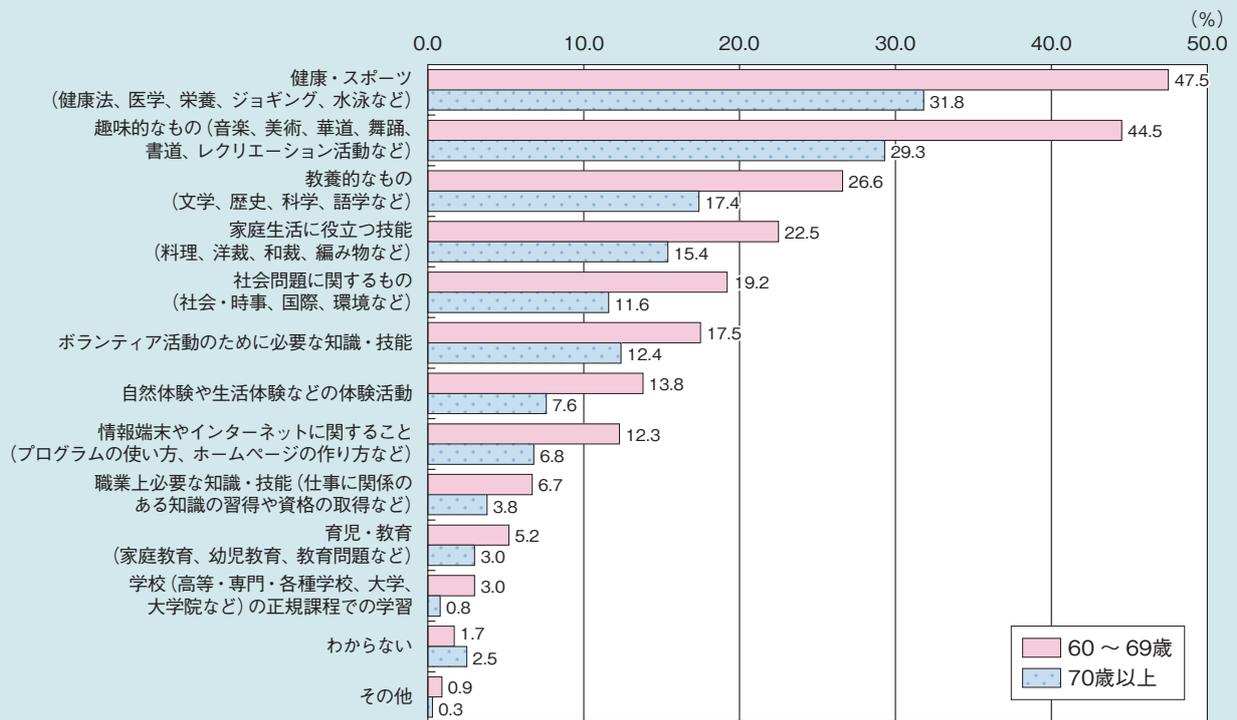
また、若い世代との交流の機会への参加意向についてみると、参加したいと考える人の割合（「積極的に参加したい」、「できるかぎり参加したい」と回答した人の合計）は平成20（2008）年で62.4%となっている（図1-2-5-6）。

図1-2-5-3 高齢者の学習活動への参加状況（複数回答）



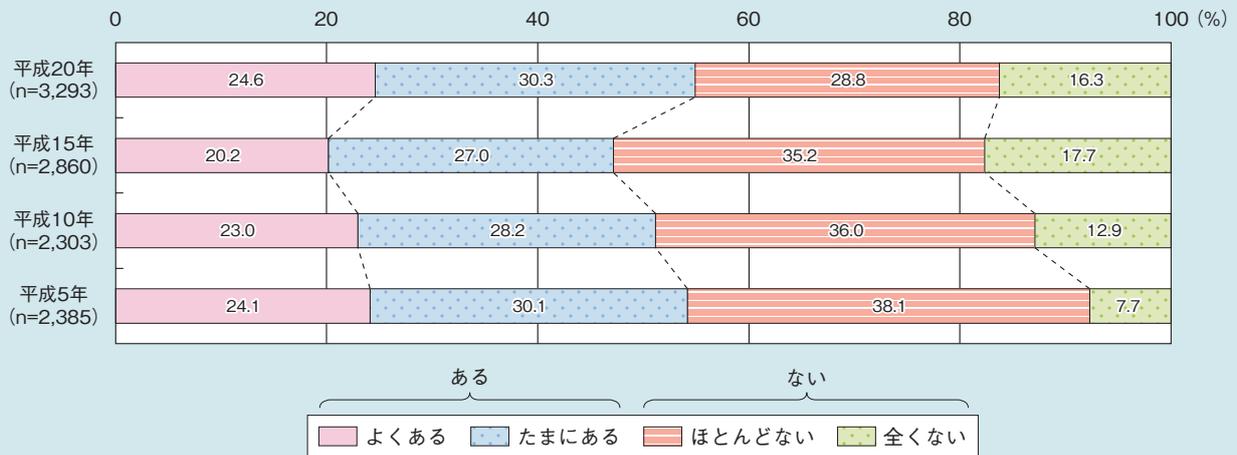
資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成20年）
（注）対象は、全国60歳以上の男女

図1-2-5-4 行ってみたい生涯学習の内容（複数回答）



資料：内閣府「生涯学習に関する世論調査」(平成24年)

図1-2-5-5 世代間交流の機会の有無



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成20年)
 (注) 調査対象は、全国60歳以上の男女